

コニカミノルタジャパン

<https://www.konicaminolta.jp/healthcare/index.html>

imaging i+ ー革新で臨床をデザインするー



【主な紹介製品】

- 一般撮影動態システム「動態回診車AeroDR TXm01」
- X線画像解析ワークステーション「KINOSIS」
- 一般撮影システム「デジタルラジオグラフィー AeroDR swift」
- 画像診断ワークステーション「CS-7」
- 胸部X線画像診断支援AIソフトウェア「CXR Finding-i」
- 医用画像管理システム「FINO.VITA.GX」
- 一般撮影ワークフロー「RAD Link」
- マンモグラフィビューワー「FINO.VITA.GX typeMG」
- 頭皮冷却システム「DigniCap Delta」
- 多人数監視用のサチュレーションモニター「モニタリングシステムVS1」
- MRI対応生体情報モニタリングシステム「Expression MR400」
- 超音波診断装置「SONIMAGE」シリーズ



回診用X線撮影装置「AeroDR TX m01」 ⊕とX線動画像解析ワークステーション「KINOSIS」

◆回診用X線撮影装置

「AeroDR TX m01」

「AeroDR TX m01」は、パルスX線の連続照射により、移動困難患者に対してX線動態撮影が可能。管球にセカンドモニターを配置し、アライメントサポート機能など撮影支援機能も充実。さらにX線動態画像を「KINOSIS」で解析することで視認性が向上、動きの定量化、肺機能情報の可視化を実現する。この解析画像により医師は患者の状態をより詳細に把握し、適切な治療を行うことが可能である。

◆デジタルラジオグラフィー

「AeroDR swift」

「AeroDR swift」は高画質、低被ばくに加え、軽量化と全周深さ4mmのくぼみ構造により、撮影作業の負担軽減と運用改善に貢献する。画像診断ワークステーション「CS-7」では一般撮影マネジメントシステム「RADInsight」との連携を強化し、ワンタッチで

「RADInsight」を起動して基準画像を表示可能で、撮影時に必要な情報を効率的に提供できる。

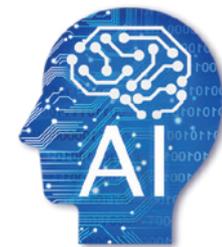
◆一般撮影ワークフロー

「RAD Link」

「RAD Link」は、一般撮影検査前の過去画像確認を容易にし、撮影の効率化と再撮影の削減を実現する。「CS-7」上で過去写損画像や施設基準画像を簡単に参照でき、検査の再現性を向上させることで診療放射線技師の働き方改革に貢献する。

◆ヘルスケアAI/画像処理

ブースでは、病変検出支援AIや業務支援などのヘルスケアAIや多彩な画像処理技術を展示する。胸部X線画像診断支援AIソフトウェア「CXR Finding-i」は病変候補を検出し、見落とし防止や確信度向上が期待できる。また、ポジショニング判定支援機能AI「Positioning-i」は再撮影を削減し、



ヘルスケア
AI関連製品

効率的なワークフローを提供する。

画像処理技術では、胸部の骨減弱処理（BS）や経時差分処理「TS」、乳房構成解析（Bda）、マンモグラフィCAD「MGCAD-i」などを展示。医師の働き方改革、診断の精度向上などへの貢献をアピールしている。

◆医用画像管理システム

「FINO.VITA.GX」

「FINO.VITA.GX」は、CT画像の同期操作をスムーズに行う胸部/腹部CT同期位置アシスト機能や、解析精度を高めた「CXR Finding-i」機能を搭載。「FINO.REPORT」は、AI判定と読影結果を突き合わせる機能を実装し、精度の高い読影をサポートする。